

## 編集後記

みなさま、社会医学研究第 27 卷 1 号に掲載された質の高い論文をご覧ください。渡部月子氏は、保健師数が多い県では、高齢者有業割合が高まり、結果的に要介護認定割合を低下させていることを示している。杉琴さやこ氏は、終末期医療における在宅療養の課題を実証している。岡田栄作氏は、精神保健福祉士 635 名を対象として、精神保健福祉士の抑うつとの関連要因として、技術を要求されるが裁量が少なく、上司、同僚からのサポートが得にくいことを報告している。楠永敏恵氏は、在宅要介護高齢者が経験する苦痛と困難として、「心身機能の衰えによる日常生活上の困難」「改善する手段のない疼痛と不快感」などを抽出している。木村美也子氏は、高校生の子をもつ中年期女性のメンタルヘルスと地域との関わり及び地域のソーシャル・キャピタルとの関連性として、高等学校生徒保護者 1,530 名を調査し、地域活動積極度、地域活動参加頻度共にメンタルヘルスと有意な関連性を有し、中年期の女性のメンタルヘルスに対し、地域のソーシャル・キャピタルの重要性を指摘している。川添禎浩氏は、健康食品の素材のヒトにおける有効性に関して考察し、生活習慣病に対する健康食品の科学的な実証があるのは、調査した 92 素材の中で 37 素材であることを明らかにしている。志賀文哉氏は、ソーシャルワークの原理の一つである「社会正義」に注目し、倫理綱領における位置づけと実践を検討している。

編集委員長を拝命してから、一年あまりが経過しました。パソコンのクラッシュなどがあり、質の高い多くの投稿をいただきながら、発行がやや遅れてしまいましたこと、誠に申し訳ありませんでした。ご多忙中にもかかわらず、査読いただきました先生方には心より感謝いたします。また、全てのプロセスで、宮尾克先生には大層お世話になりました。心より感謝いたします。次号（第 27 卷 2 号）は、大阪の総会前にできますように、努力いたしますので、引き続きご投稿をよろしくお願いいたします。（星 旦二）

### 査読者一覧（五十音順：敬称略）

下記の査読者の熱心な査読で、本号が完成しました。こころから、感謝申し上げます。

|        |        |
|--------|--------|
| 天笠 崇   | 片平 洸彦  |
| 北原 照代  | 黒岩 晴子  |
| 黒田 研二  | 高阪 悠二  |
| 榊原 久孝  | 神馬 征峰  |
| 関谷 栄子  | 高鳥毛 敏雄 |
| 千田 忠男  | 戸ヶ里 泰典 |
| 中島 晃   | 中村 賢治  |
| 中本 稔   | 波川 京子  |
| 広瀬 俊雄  | 藤原 奈佳子 |
| 松原 三智子 | 三戸 秀樹  |

社会医学研究 第27卷1号 2009年12月25日発行

日本社会医学会機関誌 社会医学研究 Bulletin of Social Medicine ISSN 0910-9919

理事長 上畑鉄之丞 過労死自死相談センター uehata@yahoo.co.jp

発行者 上畑鉄之丞

編集 星 且二 編集委員長（首都大学東京） star@onyx.dti.ne.jp

発行事務局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学情報科学研究科

宮尾克研究室内 日本社会医学会事務局

TEL/FAX 052-789-4363 mmiyao@med.nagoya-u.ac.jp